



富山県のいま そして これから

令和3年10月



目次

1 富山県のすがた

◆ 富山県の概要	...	3
◆ 魅力ある富山県①②	...	4
◆ 数字で見る富山県	...	6
◆ 安全・安心な立地環境	...	7
◆ 充実した交通網	...	8
◆ 環日本海交流の拠点	...	9
◆ 富山県の産業	...	10
◆ 産業の集積①②③	...	11

2 富山県の将来ビジョン

◆ 富山県成長戦略	...	15
◆ 富山八策 & 八十八の具体策	...	16
◆ 令和3年度一般会計予算	...	17
◆ 新型コロナウイルスへの対応状況（令和3年度）	...	19

3 富山県の財政状況

◆ 普通会計決算状況	...	21
◆ 県税収入	...	24
◆ 県債発行額	...	25
◆ 県債残高	...	26
◆ 基金残高	...	27
◆ 主な財政指標の状況	...	28
◆ 公営企業の決算状況	...	29

4 市場公募債発行計画

◆ 令和3年度市場公募債発行概要	...	31
<u>お問い合わせ先</u>	...	33

①

富山県のすがた

～富山県ってこんなところ～

- 富山県の概要
- 魅力ある富山県①②
- 数字で見る富山県
- 安全・安心な立地環境
- 充実した交通網
- 環日本海交流の拠点
- 富山県の産業
- 産業の集積①②③

富山県の概要

- 富山県は、南北にのびる日本列島の中心、本州の中央北部に位置しています。三方を急峻な山々にかこまれ、深い湾を抱くように平野が広がっており、富山市を中心に半径50kmというまとまりのよい地形が特徴です。
- また、日本海側の中央に位置する本県では、アジア大陸や朝鮮半島など対岸諸国との古くからの交流の積み重ねを活かし、環日本海地域の中央拠点として活発な取組みを展開しています。

人口

1,027,559人

令和3年8月1日現在

面積

4,247.58 km²

県内総生産（名目）

4兆8,247億円

平成30年度「県民経済計算」



魅力ある富山県①

- 富山県は、高低差約4,000mの雄大な自然環境やそれが生み出す食文化、伝統芸能などの多彩な観光資源に恵まれています。



立山黒部アルペンルート

北アルプスを貫く世界有数の山岳観光ルート
(左) 雪の大谷、(右上) 黒部ダム、(右下) ロープウェイ



黒部市「黒部峡谷」

日本一の深さを誇るV字形の谷



高岡市「国定公園 雨晴海岸」

富山湾越しに望む3000m級の立山連峰



南砺市「五箇山の合掌造り集落」

1995年に世界遺産へ登録



高岡市「瑞龍寺」

1997年に山門、仏殿、法堂が国宝に指定
江戸初期の禅宗寺院建築として高く評価

魅力ある富山県②



紅ズワイガニ



ブリ



ます寿司



しろえび



ほたるいか



越中八尾 おわら風の盆

気品高く、哀調の中に優雅な趣を有する唄と踊りが特徴
例年3日間で約20万人の観光客が訪れる



魚津たてもん祭り

2016 年には「高岡御車山祭」、「城端曳山祭」、「魚津たてもん祭り」の3つの山・鉦・屋台行事がユネスコ無形文化遺産に登録
祭り当日には県内外から多くの人が集まる



高岡御車山祭



城端曳山祭

数字で見る富山県

暮らし

持ち家率	＜全国 1位 ＞ (2015)
県民所得(1人当たり)	＜全国5位＞ (2018)
女性(15～64歳)有業率	＜全国4位＞ (2017)
生活保護率(低さ)	＜全国 1位 ＞ (2018)
重要犯罪発生件数(低さ)(人口10万人あたり)	＜全国10位＞ (2020)
火災発生件数(低さ)(人口1万人あたり)	＜全国 1位 ＞ (2020)
緊急自動車による現場到着所要時間(低さ)	＜全国2位＞ (2020)
道路整備率	＜全国 1位 ＞ (2019)

教育・文化

全国学力・学習状況調査	小学校6年 ＜全国4位＞ (2019)
	中学校3年 ＜全国4位＞ (2019)
高等学校進学率	＜全国6位＞ (2020)
大学等進学率	＜全国16位＞ (2020)
大学入学共通テスト現役志願率	＜全国4位＞ (2020)
公図書館数(人口10万人あたり)	＜全国6位＞ (2019)
博物館数(人口100万人あたり)	＜全国2位＞ (2018)

自然環境

自然度比率 30.0% ＜ 本州一 ＞	＜全国3位＞ (1998)
保安林率 77.7%	＜全国 1位 ＞ (2015)
✓ 名水一環境省選定「名水百選」と「平成の名水百選」合わせて8件は熊本県とともに 日本一	

産業

医薬品生産金額 6,937億円	＜全国4位＞ (2019)
住宅用アルミニウム製サッシの全国シェア	＜全国 1位 ＞ (2016)
兼業農家率 83.8%	＜全国2位＞ (2015)
水田率 95.6%	＜全国 1位 ＞ (2016)
チューリップ球根出荷量 16,713千球	＜全国 1位 ＞ (2015)

47都道府県幸福度ランキング 全国2位

「全47都道府県幸福度ランキング2020年版」(東洋経済新報社)で、富山県が総合2位を獲得。
健康、仕事、生活、教育の4分野でもトップ5に選出

安全・安心な立地環境

- 富山県は、地震や津波が少なく、また台風の影響を受けにくい地域です。
- 地震や津波は少ないものの、これまでも地震被害想定調査や津波シミュレーション調査の実施、公共施設の耐震化などハード・ソフト両面で防災・減災対策にもしっかり取り組んでいます。

○過去30年間(1990～2019)の震災回数

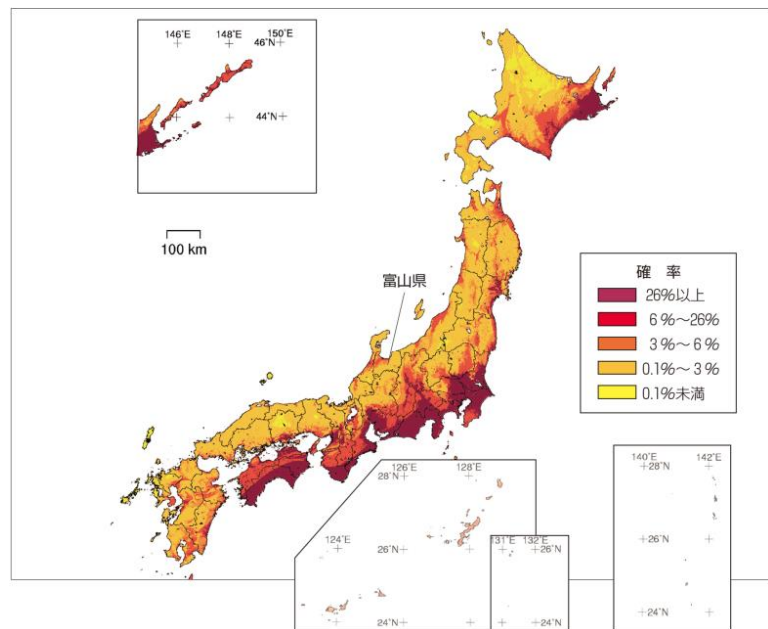
- ✓ 震度3以上：28回、震度4以上：5回、**ともに全国最少**

○過去に富山県に到達した津波の状況

- ✓ 富山県での1mを超える津波は、文献で確認できる684年以降で、1833年の1件(1～2m)のみ。
- ✓ 国が津波の観測を開始して以来、地震による津波被害なし

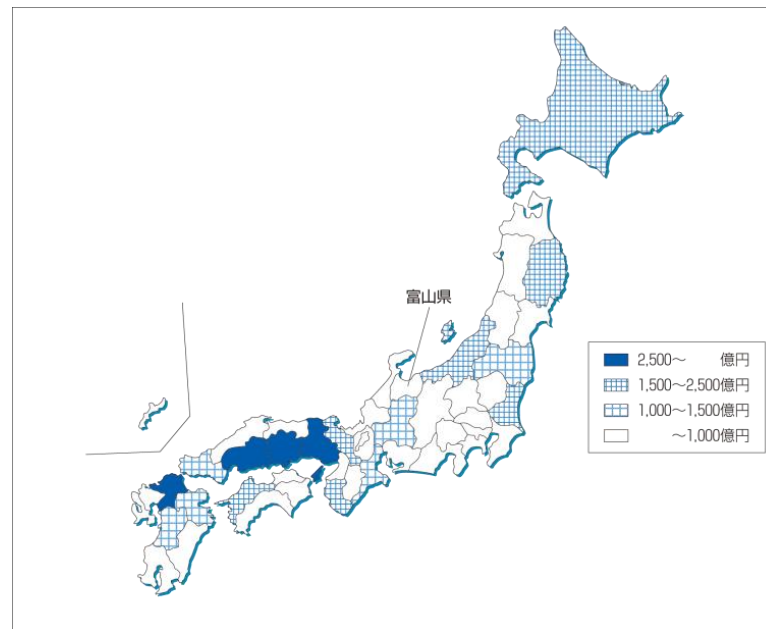
- ✓ 2016年には、北海道や東北に大きな被害をもたらした**台風10号**など、過去2番目に多い6個の台風が日本に上陸して各地で大きな被害がありましたが、**富山県ではほとんど被害がありませんでした。**
- ✓ 自然災害を受けにくいことに加え、**災害に強い県づくりのため、治水、砂防、森づくりなどを進めています。**

●今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率



(地震調査研究推進本部：全国地震動予測地図 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率の分布図) 基準日 2018年1月1日

●過去10年間(2009～2018)都道府県別水害被害累積額分布図(2011年価格)



(国土交通省：水害統計)

充実した交通網 ～「北陸の十字路」として～

- 富山県は、日本海側の中心に位置し、北陸新幹線、東海北陸自動車道、空港などにより、東西南北の各県・地域を結ぶ要所があり、さらには世界をもつなぐ、まさに「**北陸の十字路**」です。

鉄 道

富山	2時間07分（新幹線）	東京
	3時間01分（新幹線＋特急）	新大阪
	2時間56分（新幹線＋特急）	名古屋

北陸新幹線(金沢・敦賀間)
開業(2023年度末予定)後

富山～新大阪間

約2時間30分※

北陸新幹線全線開業後

富山～新大阪間

約1時間40分※

※国土交通省資料をベースに富山県試算

高速道路

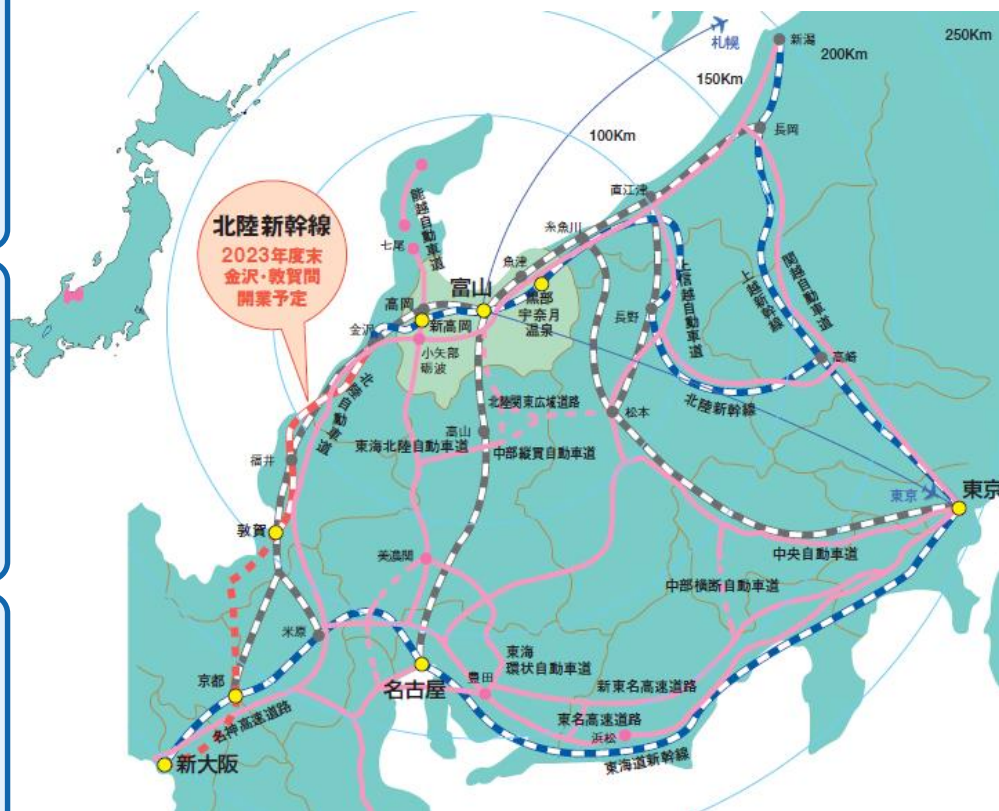
富山	4時間50分	東京
	4時間15分	大阪
	3時間	名古屋

高速道路網で3大都市圏と直結しており、物流に便利です。これにより、**伏木富山港**を経由しての中国・韓国・ロシアなどの経済交流が活発化しています。

航空路

国内線	富山	約55分（3便/日※） ※10/31～	東京
		90分（1便/日）	札幌
	富山	2時間15分（3便/週）	大連
		1時間50分（3便/週）	ソウル
国際線		2時間30分（2便/週）	上海
		3時間05分（4便/週）	台北

新型コロナウイルス感染症等の影響により、運休している場合があります。



環日本海交流の拠点

- 富山県は、日本海を取り囲む環日本海交流圏の中心に位置しており、その交流拠点として「富山きとときと空港」や「伏木富山港」から対岸諸国への航空路・航路が整備されています。

逆さ地図



海上航路

富山 → ウラジオストク 富山 → 釜山 (4便/週)

コンテナ船 (2便/月)

RORO船 (13便/月) <全国最多>

富山 → 大連 (2便/週)

富山 → 上海 (2便/週)

富山 → 天津 (1便/週)

日本海側の「総合的拠点港」伏木富山港

- ✓ 伏木富山港は、国際海上貨物輸送網の拠点となる港湾である「国際拠点港湾」に指定された、環日本海交流の中核を担う国際貿易港です。
 - ✓ 2011年11月には、日本海側の各港湾をけん引する「総合的拠点港」として国から選定されました。
- ### 伏木富山港（新湊地区）



伏木富山港（新湊地区）



各地にビジネス支援体制を整備

- ✓ 環日本海地域との交流の拠点として、2004年に中国大連市に「**富山県大連事務所**」を設置し、経済、観光、学術、文化等、様々な交流を支援しています。
- ✓ 2010年5月には、ロシア・ウラジオストク市に「**富山県ロシア極東ビジネスサポートデスク**」、2012年12月には、タイ・バンコクに「**富山県バンコクビジネスサポートデスク**」、2013年1月には台湾・台北市に「**富山県台北ビジネスサポートデスク**」を設置し、県内企業のグローバルな事業展開を支援しています。

富山県の産業

- 富山県は、**米どころ**であるほか、チューリップ球根の出荷量が日本一の産地でもあり、**伝統ある定置網漁法による漁業も盛ん**です。
- また、質の高い労働力、豊富な電力と水、充実した物産・交通網、ものづくりの伝統、**日本海側屈指の工業集積**など優れた産業基盤があります。「**くすりの富山**」として全国に知られる医薬品産業のさらなる発展や新たな成長産業の育成・振興により、「**ものづくり県**」として一層の飛躍を目指しています。

第二次産業への就業人口割合 (2015)

全 国 23.6%

富山県 33.1% (全国トップ)

人口1人あたりの付加価値額 (2018)

全 国 82万円

富山県 138万円

※付加価値額＝生産額－（原材料費＋減価償却費＋内国消費税）

製造品出荷額等 (2019)

北陸全体 9兆1,774億円

うち富山県 3兆9,124億円 (約43%)

人口1人あたりの製造品出荷額等 (2018)

全 国 262万円

富山県 384万円

富山県製造品出荷額等の上位5業種

順 位	業 種	金 額 (億 円)
1位	化学	7,777
2位	生産用機械	5,022
3位	金属製品	4,201
4位	非鉄金属	3,827
5位	電子部品	3,272
出 荷 総 生 産 額		39,124

- ✓ 大正時代から豊富な水資源と低廉な電力を活用した化学や紡績産業が立地し、戦後は新産業都市構想を背景にアルミなどの金属や機械産業の集積が進みました。
- ✓ 近年、これらの古くからの企業が電子材料分野で新たに事業展開するとともに、県外からの企業の新規立地も進むなど電子部品・デバイス・電子材料産業も盛んです。
- ✓ 今日では**日本海側で実質1位**の工業集積を形成しています。

産業の集積①

機械・金属産業の集積

戦前から蓄積されていた銅・鋳物の加工技術等を活かしたアルミ産業の集積が進み、**全国一のアルミ産地を形成**しており、世界的なファスナーメーカーもあります。

また技術力の高い機械関連企業や自動車産業を支える優良な部品メーカーが数多く立地しており、機械産業の盛んな中京・東海地域を結ぶ「東海北陸機械ロード」ともいべき集積がみられます。

電子デバイス産業の集積

良質で豊富な水、安価で安定した電力、自然災害の少なさ、交通の利便性といった**半導体等のデバイスメーカーが志向する立地条件**を十分に満たしています。

IT関連製造業では、グローバル製品に使用される基盤／素材、電装／機能部品といった部品・加工メーカーの集積が見られ、デバイスメーカーへの部品供給、加工等の素地が整っています。

富山県の機械・金属等関連企業（一例）

YKKグループ
■ YKK AP R&Dセンターを建設し、研究・開発・検証・試験の機能集結 ■ 黒部事務所に本社機能の一部を移転
(株)スギノマシン
■ ウォータージェット等の「超技術」を追求 ■ 新工場「微粒テストセンター」が竣工（2021.5）
富山住友電工(株)
■ アルミニウム、ニッケル等をベースとした高品質で高性能な電気・電子材料を製造 ■ 北陸電力の太陽光発電設備の第三者所有モデルで県内第1号となる契約を締結

アイシン軽金属(株)		アルミ軽量化技術のトップメーカー
キタムラ機械(株)		国内唯一のマシニングセンタの専門メーカー
コマツNTC(株)		トランスファーマシン、半導体製造装置等の工作機械製造
三協立山(株)		ビル用・住宅用アルミ建材、超軽量マグネシウム合金の製造・販売
CKサンエツ	サンエツ金属(株)	日本最大の黄銅棒・黄銅線メーカー
	シーケー金属(株)	各配管機器製造、カドミ無・鉛無 溶融亜鉛めっきを開発
田中精密工業(株)		自動車、オートバイ用エンジン部品等製造
(株)不二越		軸受、機械工具、油圧、ロボット等の事業を合わせ持つ県内トップメーカー

富山県の電子デバイス関連企業（一例）

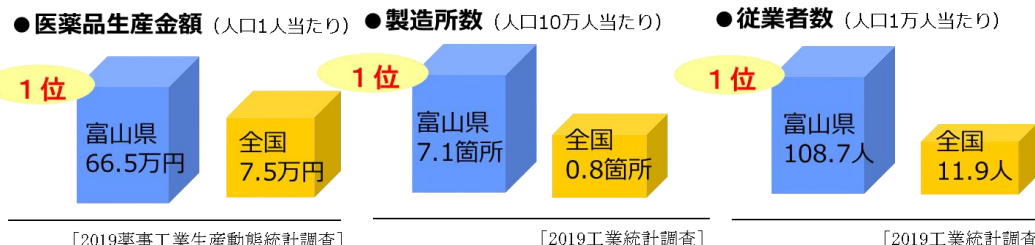
(株)富山村田製作所
■ 世界的シェア100%を誇るパソコン用ショックセンサや、高性能スマホ部品（メトロサーク等）を製造
(株)KOKUSAI ELECTRIC
■ 世界トップレベルの成膜技術を活かした、半導体製造装置を生産 ■ 新生産棟及び研究開発エリアを拡張
立山科学グループ
■ 人感センサーでの高齢者見守りシステムで全国トップシェア ■ 同グループの(株)タアフの航空機部品の新工場が竣工（2019.8）

SMK(株)	電子部品の開発、製造、販売を行う世界的部品メーカー
コーセル(株)	スイッチング電源のトップ企業（国内シェア30%）
(株)スクリーンSPEワークス	世界トップシェアを誇る半導体洗浄装置の製造
タカノギケン(株)	スマホ、パソコン向け電子部品、電子部品用端子を製造
タワーパートナーズセミコンダクター(株)[TPSCo]	7.5億個以上の大規模集積回路を製造
トーキン(株)	キャパシタの研究・開発・試作拠点
日本カーバイド工業(株)	化学品原料、機能フィルム、半導体基盤用接着剤を製造
日本ゼオン(株)	液晶TVやスマートフォンの光学フィルム等を製造

医薬品産業の集積（薬都とやま）

富山県は2019年の医薬品生産金額が全国4位の6,937億円となっており、ほかにも人口1人あたり医薬品生産金額、人口10万人あたり製造所数、人口1万人あたり従業員数で**全国1位**となっています。

また、富山県には**100を超える製造所と容器・包装・印刷などの周辺産業**が集積しており、医薬品の製造拠点として高い評価を得ています。



富山県の医薬品関連企業（一例）

富士フィルム富山化学(株)

- 県内を代表する新薬メーカー
- 2020.2 日本初のリボソーム製剤工場を建設
- COVID-19ワクチン治験薬製造を受託

アステラスファーマテック(株)

- 免疫抑制剤（プログラフ）、アトピー性皮膚炎治療薬を製造
- 2020.1 「バイオ原薬棟」完成

富山小林製薬(株)

- 小林製薬グループの中でも最大規模の工場
- 本社敷地内に漢方薬を製造する**新棟「漢方棟（仮称）」を建設中**
- 今後、医薬品の新棟建設も計画

アクティブファーマ(株)	医薬品原薬の開発・製造・販売
(株)大塚製薬工場	輸液のリーディングカンパニー
クラシエ製薬(株)	漢方薬の顆粒剤を製造
(株)廣貫堂	配置薬製造。医療用医薬品の受託生産を拡大
ダイト(株)	ジェネリック薬の原薬・製剤の受託製造
テイカ製薬(株)	特許製剤。（パップ剤、点眼剤）の製造
富士製薬工業(株)	女性医療、急性期医療に特化
ユースキン製薬(株)	外用薬の製造
リードケミカル(株)	経皮吸収タイプ医薬品製造のリーディングカンパニー

産学官の連携

富山県内の大学における医薬品分野の研究開発や人材育成等を推進し、県内の中核的な産業である医薬品産業のさらなる発展を図るため、産学官連携により2018年6月に「**くすりのシリコンバレーTOYAMA**」創造コンソーシアムを設立しました。

本コンソーシアムでは、富山県薬業連合会、富山大学、富山県立大学、富山県薬事総合研究開発センターの産学官が中心となり、研究開発や人材育成等を推進するとともに、大学改革を通じて、富山県の医薬品産業の振興や「**くすりの富山**」を支える専門人材の育成・確保に取り組んでいます。



創薬研究開発センター

- 富山県薬事総合研究開発センター
都道府県立では唯一の薬事専門研究機関であり、免疫をターゲットとした**革新的な医薬品**の開発や、**一連の製剤機器や高度な分析器**等を配備し、人材育成や新製品開発を全面支援

2018年4月に「薬事研究所」を「薬事総合研究開発センター」に抜本的に改組し、この下に「**創薬研究開発センター**」、「**製剤開発支援センター**」、「**薬用植物指導センター**」を設置

産業の集積③

- 世界シェアや全国シェアトップクラスを誇る多くのオンリーワン企業が立地しています。

高度技術の産業群

・気密ファスナー	Y K K (株)
・産業ロボット・自動車用軸受	(株)不二越
・自動車用エンジンバルブ開閉用部品	田中精密工業(株)
・ウォータージェット・微粒化装置	(株)スギノマシン
・太陽電池ウェハー製造装置	コマツNTC(株)
・工作機械・マシニングセンタ	キタムラ機械(株)
・コンピューター等のスイッチング電源	コーセル(株)
・超大型樹脂成形システム	(株)タカギセイコー
・宇宙飛行士酸素供給ホース	(株)トヨックス
・液晶ディスプレイ材料	日本ゼオン(株)、(株)サンリツ
・リチウムイオン電池材料	新日本電工(株)

多くのオンリーワン企業

・パソコン用ショックセンサ（世界シェア 100% ）	(株)富山村田製作所
・セラミック発振子（世界シェア 75%）	〃
・カメラレンズ着脱部（世界シェア 90% ）	サンエツ金属(株)
・耐圧ホース（全国シェア 72%）	(株)トヨックス
・CMOSセンサーカメラモジュール（全国シェア 90% ）	(株)シキノハイテック
・ブローチカッター（切削工具）（全国シェア 70%）	(株)不二越
・自動包装機（全国シェア 70%）	(株)ハナガタ
・一般家庭用接着剤（全国シェア 80%）	東亜合成(株)
・樹脂合わせガラス（全国シェア 70%）	新光硝子工業(株)
ガラスの曲げ加工（全国シェア 70%）	〃
・高強度炭化ケイ素連続繊維	NGSアドバンスファイバー(株)

② 富山県の将来ビジョン

～幸せ人口1000万 ウェルビーイング先進地域、富山 の実現をめざす～

- 富山県成長戦略
- 富山八策&八十八の具体策
- 令和3年度一般会計予算
- 新型コロナウイルスへの対応状況（令和3年度）

富山県成長戦略

- 経済社会構造が大きく変革するなか、本県のさらなる成長のため、経済的な豊かさに加え、身体的・精神的・社会的に良好な状態である真の幸せ（ウェルビーイング）の向上を重視した「富山県成長戦略」を策定し、戦略の6つの柱を着実に実行

「富山県成長戦略会議」（令和3年2月19日設置）

<設置の趣旨> 人口減少・少子高齢化が進む中、現下の新型コロナによる厳しい経済情勢を乗り越え、富山県のさらなる発展に向けたビジョンや戦略を検討

<検討内容> 富山県の新しい未来に向けて経済を加速させるための経済構造の変革
他地域との差別化を図り、移住の戦国時代に打ち勝つ戦略や広報

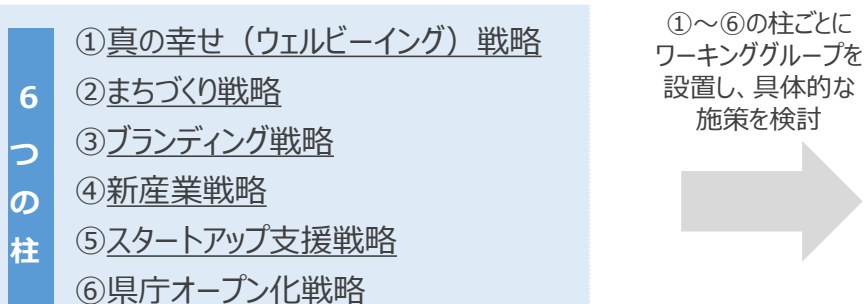
<委員等> 座長：中尾 哲雄 氏（富山経済同友会特別顧問）
副座長：吉田 守一 氏（(株)日本経済研究所ソリューション本部副本部長）
特別委員：安宅 和人 氏（慶應義塾大学環境情報学部教授、ヤフー(株)CSO）
委員：齋藤 滋 氏（富山大学学長）、高木 新平 氏（(株)ニューピース 代表取締役社長）
土肥 恵里奈 氏（(株)ママスキー 代表）、藤井 宏一郎 氏（マカイ(株) 代表取締役CEO）
中村 利江 氏（(株)日本M&Aセンター専務CCO、(株)出前館 エグゼグティブアドバイザー）
藤野 英人 氏（レオス・キャピタルワークス(株) 代表取締役会長兼社長）
前田 大介 氏（前田薬品工業(株) 代表取締役社長）、藻谷 浩介 氏（(株)日本総合研究所 主席研究員）

<R3.2.19からの検討状況>

日時等		主な議論
R3.2.19	第1回	これからの富山県のビジョン
R3.3.29	第2回	ベンチャー創業支援と規制緩和・官民連携
R3.4.28	第3回	デジタル化とデータサイエンス教育
R3.5.31	第4回	目指せポータルランド！観光・移住・子育てと広報戦略
R3.6.14	第5回	ストップ人口減少！移住政策と女性活躍
R3.7.26	第6回	富山県成長戦略会議中間報告（案）について

「富山県成長戦略中間とりまとめ」 幸せ人口1000万 ウェルビーイング先進地域、富山 の実現をめざす

富山県のウェルビーイングの向上と次世代の価値を産む人材の集積を戦略の核に、①6つの柱を中核とする成長戦略、②施策の方針や方向性、③施策の検討体制や実施方針等を整理



成長戦略会議にて、実効性のあるアクションプランとしてとりまとめ、R4年度当初予算に反映。併せて、ビジョンを共有するため、

◆ 県民に向けたメッセージの発信

◆ 知事が15市町村を訪問し、「富山県成長戦略ビジョンセッション」を開催

※ 詳細は

富山県成長戦略会議

検索

富山八策&八十八の具体策

- 富山県の強みを生かし、県民・民間企業の皆様、県内15市町村が「ワンチームとやま」としてスクラムを組み、「地方の時代」のトッ
プランナーとして飛躍するため、八つの重点政策 **富山八策** の実現に向け **八十八の具体策** をスピード感を持ち推進

※「富山八策」、「八十八の具体策」は、知事の名前「新田 八朗」の“八”にこだわり命名

①経済

新型コロナウイルスに勝つ！
新しくワクワクする稼げる産業へ！

②子育て

ストップ少子化！
子育て環境日本一へ！

③医療・介護

健康寿命を延ばす！
「世界のデータヘルス都市とやま」へ！

④効率化

デジタル化・産学官連携・
市町村連携による
「超」効率的な自治体運営

⑤農林水産・地域社会

農林水産業の振興と
持続可能な地域社会へ！

⑥多様性

SDGsの推進！
県民一人一人が輝ける
多様性のある富山へ！

⑦人材育成

将来の富山を担う
「人材」への思い切った投資

⑧魅力向上

アフターコロナ
「移住の戦国時代」で
選ばれる富山へ！

**「若者からお年寄りまで、希望に満ちた富山県」
「ワクワクすることがたくさんある富山県」
「チャンスがあり夢を叶えられる富山県」を目指します！**

※「富山八策」と「八十八の具体策」の実現に向けたロードマップは、富山県HP（通常版）で公表しています。

[重点政策 ロードマップ](#)

[検索](#)

令和3年度一般会計予算

- 新型コロナ対策と社会経済活動の両立を図るとともに、**ビヨンドコロナ時代を見据えたワクワクする富山県、新しい富山県**を創造するため、**富山八策の8つの柱からなる重点政策を推進**。
- 国交付金などを活用したコロナ対策経費の大幅な増加により、対前年度比624億円の増。
- **当初予算としては過去最大規模**。

(単位 億円、%)

<予算総額>	令和3年度	令和2年度	前年度比	
			増減額	増減率
当初予算	6,336	5,712	+624	+10.9
前年度2月補正	365	216	+149	+69.0
計(14か月予算)	6,701	5,928	+773	+13.0



1. 新型コロナ対策 (134億円)

感染拡大防止、医療提供体制整備、事業継続・雇用維持、経済活動の回復など

2. 新成長戦略枠 (68億円) 民需主導特別枠 (15億円)

産業・経済の活性化等をはじめとする8つの柱からなる、富山八策及び八十八の具体策を実現する事業を計上

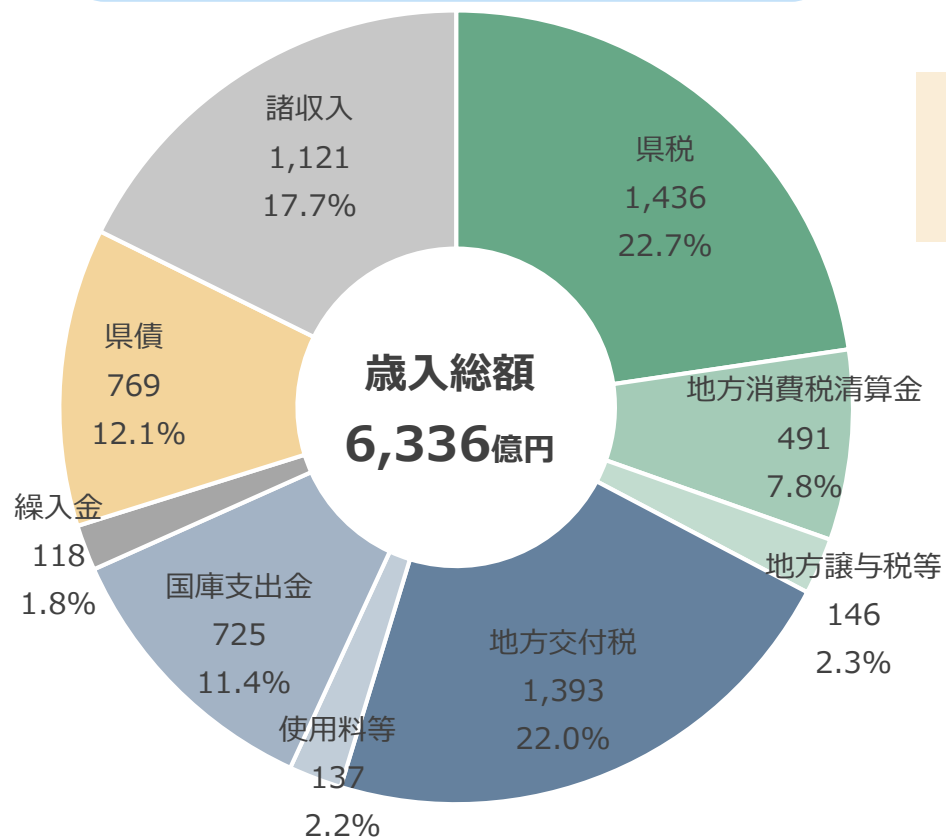
3. サンドボックス枠 (1.1億円)

現場の視点、アイデアを活かし、新たな課題に迅速・果敢に対応 (各部局1,000万円)

令和3年度一般会計予算 ～歳入・歳出の内訳～

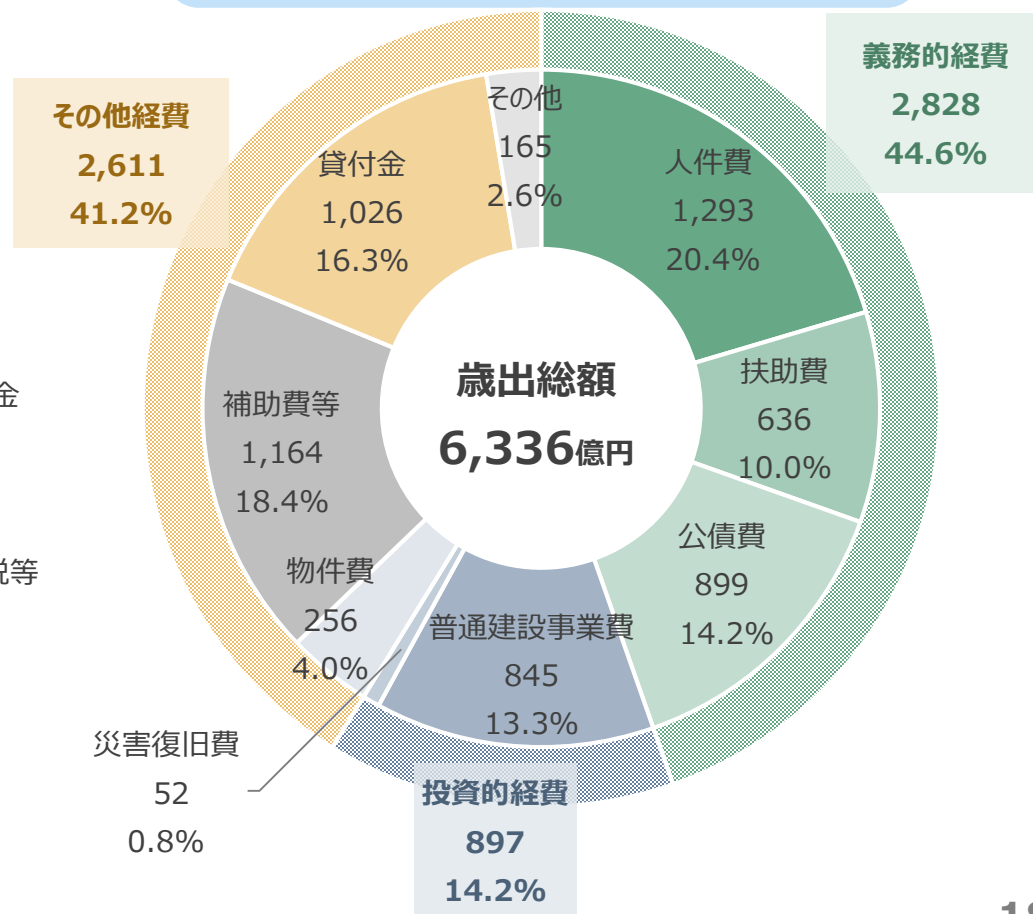
- 歳入のうち県税が1 / 4を占め、次いで、地方交付税、諸収入、県債の順になっています。
- 歳出のうち、人件費、扶助費、公債費の「義務的経費」が4割以上を占めています。

歳入（令和3年度一般会計予算）



(金額単位 億円)

歳出（令和3年度一般会計予算）



新型コロナウイルスへの対応状況（令和3年度）

令和3年度当初予算での主な対応

①新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる医療機関等に対する支援・体制確保

【医療機関等支援、検査・診療体制確保】

ワクチンを迅速かつ適切に接種するための体制確保、かかりつけ医等からの紹介でPCR検査を受けられる体制の整備、入院病床、軽症者等宿泊施設の確保

②中小企業の再建支援・雇用維持等に加え、経済活動の回復に向けた取組を支援

【中小企業制度融資資金メニューの創設】

- ・「DX推進資金」：デジタル技術を活用した新産業の創出のための設備投資を支援
- ・「ビヨンドコロナ応援資金」：金融機関の継続的な伴走支援を受けながら経営改善に取り組む中小企業者の支援
- ・「経営改善サポート資金」：信用保証協会等の支援により作成した事業再生計画に基づく経営再建の支援

【中小企業リバイバル補助金】

中小企業等の事業活動の再建、成長発展に向けた意欲的な取組みを支援



令和3年度補正予算での主な対応（9月補正まで）

医療提供体制と感染拡大防止策の強化

- 飲食店における第三者認証制度の導入、県によるワクチン接種特設会場の設置（5月専決）
飲食店等への時短要請に伴う協力金（8月専決、9月補正）、医療提供体制の維持・強化（9月補正）

県民生活等への支援

- 生活困窮者、子育て世帯、ひとり親家庭等への支援（4月専決、6月補正、9月補正）

事業継続・雇用維持の支援

- 公共交通事業者、観光施設への事業継続支援（6月補正、9月補正）
事業持続月次支援金（9月補正）

経済活性化に向けた取組みへの支援

- 中小企業リバイバル補助金の増額小規模企業者緊急支援補助金の創設（6月補正）、地域経済の消費喚起プロジェクト支援（9月補正）

3

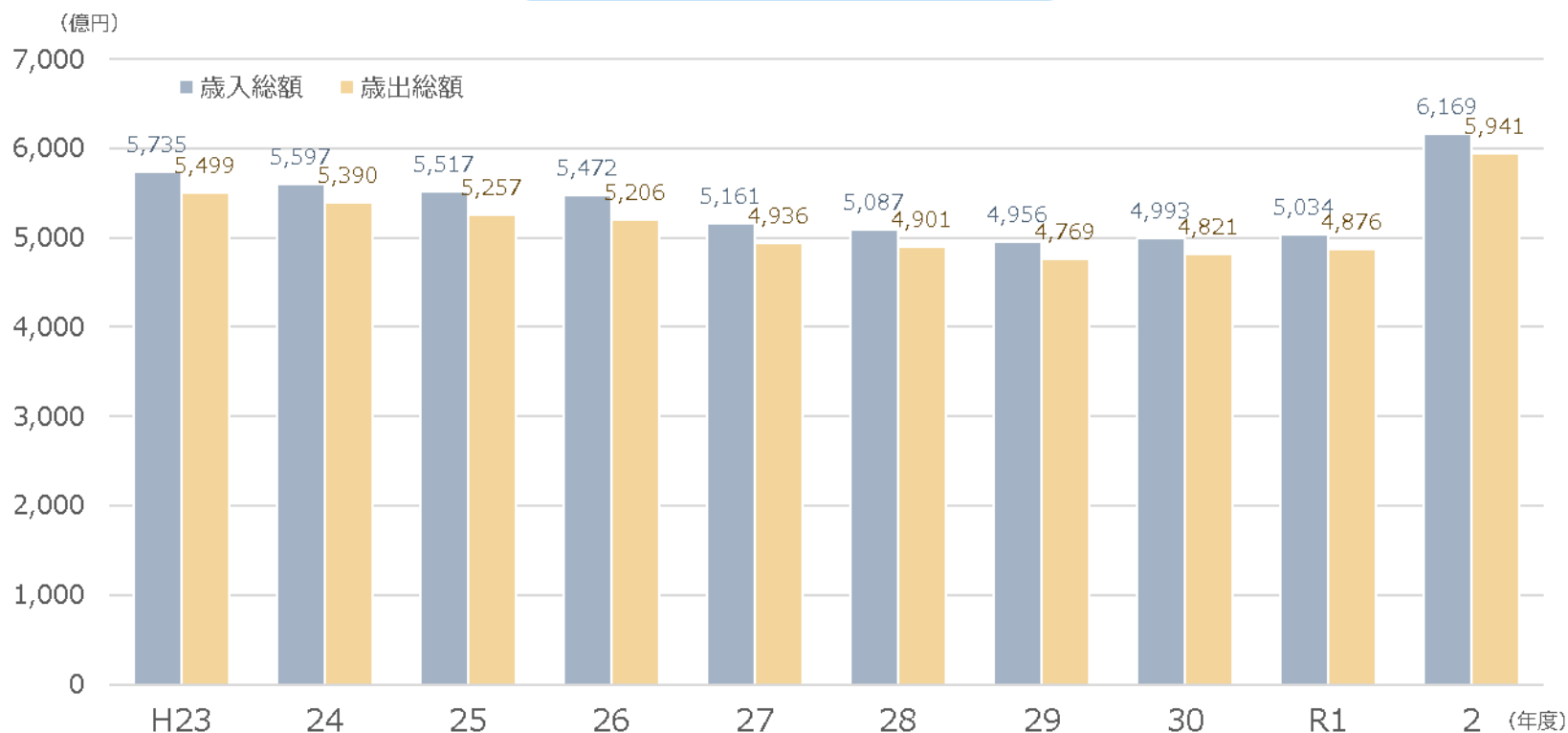
富山県の財政状況

- 普通会計決算状況
- 県税収入
- 県債発行額
- 県債残高
- 基金残高
- 主な財政指標の状況
- 公営企業の決算状況

決算収支（普通会計）

- 令和2年度はコロナ対策経費等により、歳出・歳入が大幅に増加しています。

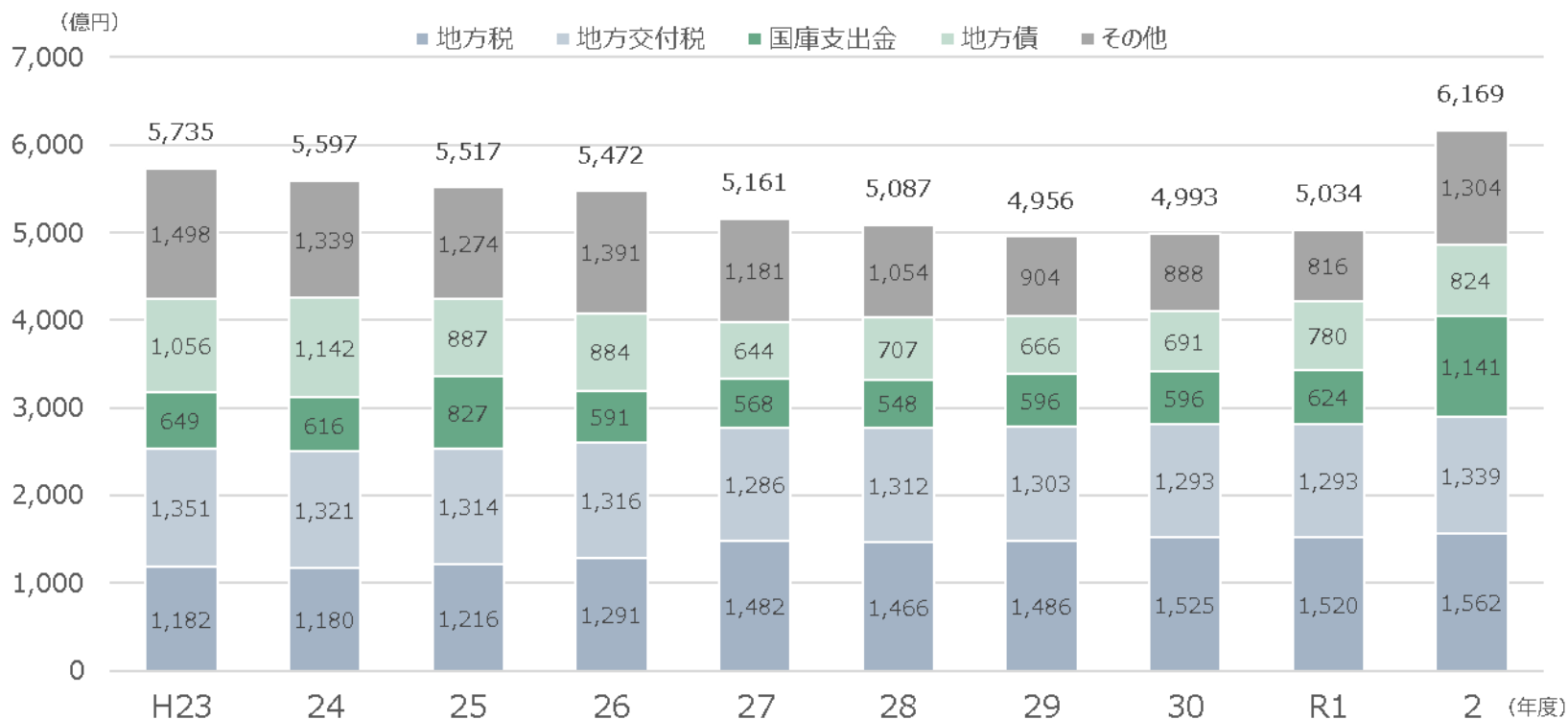
普通会計 歳入歳出の推移



歳入決算の推移（普通会計）

- 令和2年度の歳入総額は国庫支出金の増等により大幅に増加しています。

普通会計 歳入決算の推移

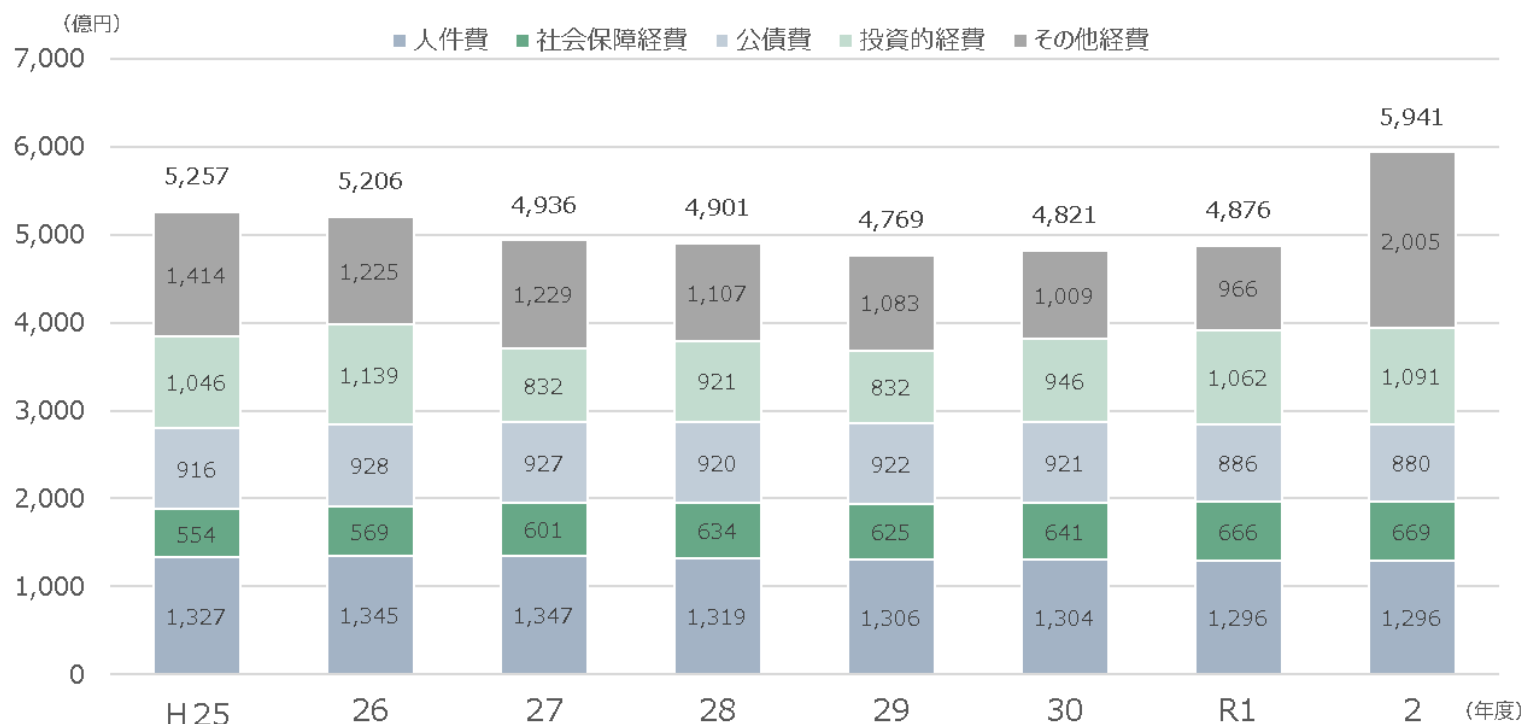


- 国庫支出金の増は新型コロナウイルス感染症対策のための交付金の新設等によるもの
- 歳入全体に占める自主財源の割合は約4割となっている

歳出決算の推移（普通会計）

- 令和2年度は新型コロナ対策経費の増や大雪への対応、国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」への対応等により大幅に増加するとともに、社会保障経費は年々増加しています。

普通会計 歳出決算の推移

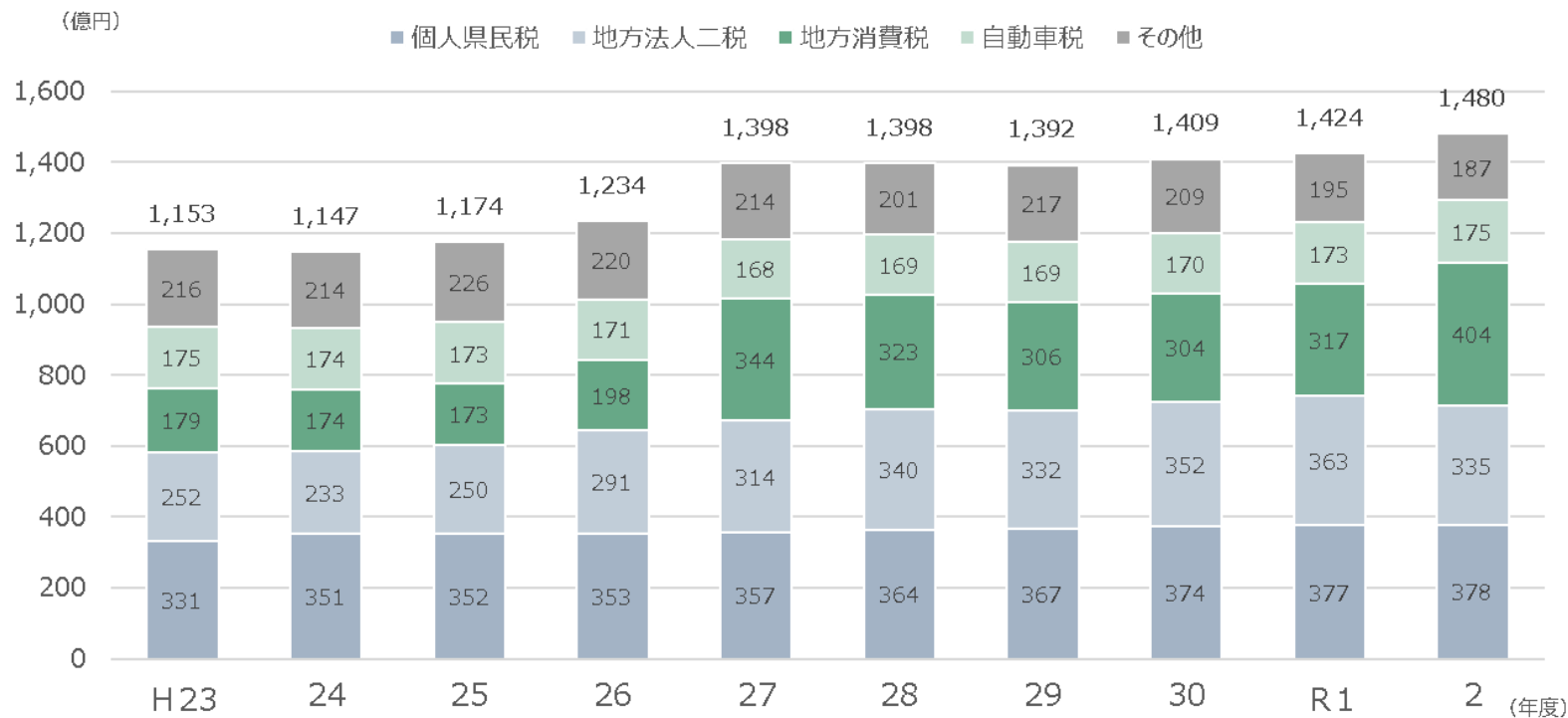


- 令和2年度は、新型コロナ対策として、病床確保等の医療体制の整備・充実や中小・小規模事業者等の支援事業を実施したことにより社会保障経費、その他経費が増加
- 投資的経費は「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に伴う公共事業の増加により近年増加傾向

県税収入の推移

- 令和2年度までは景気回復や消費税率の引き上げを背景に増収傾向となっています。

県税収入の推移 ※決算ベース

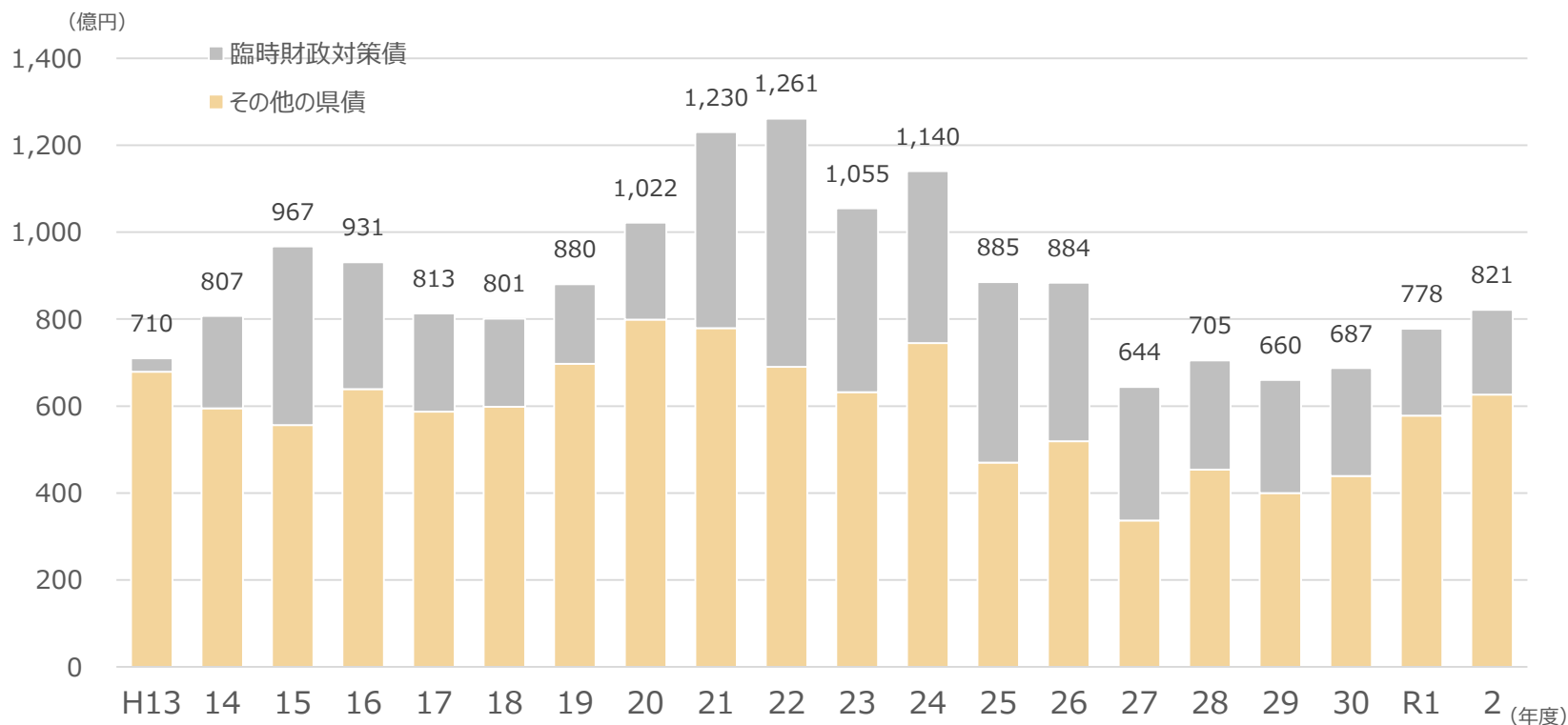


- 令和2年度は新型コロナの影響により法人二税収入が減少しましたが、税率引き上げにより地方消費税が増収となったため、県税全体では増収となっています。

県債発行額

- 県債の新規発行額は、臨時財政対策債と防災・減災、国土強靱化対策の強化により、近年は増加傾向にありますが、新規発行の抑制や、地方交付税措置のある有利な起債の活用などに取り組んでいます。

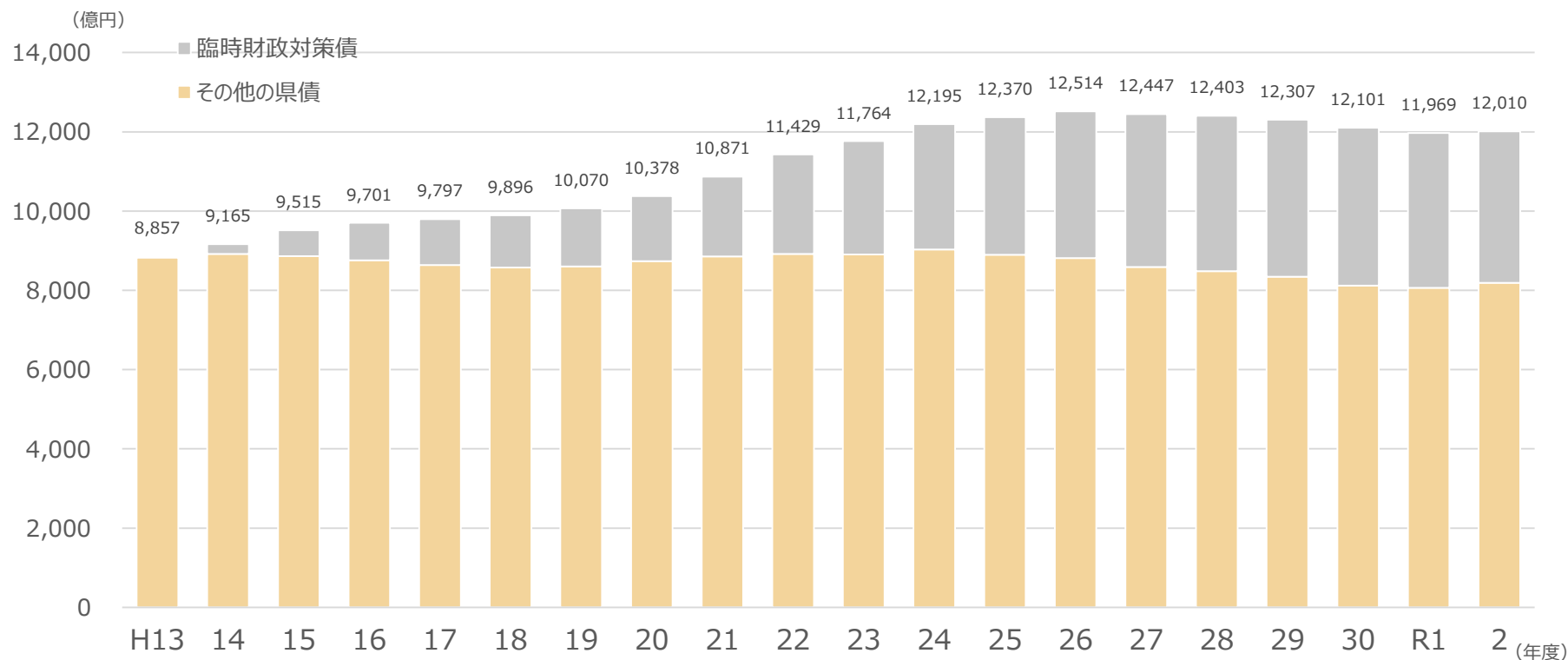
県債発行額



県債残高

- 県債残高は、平成27年度以降減少してきましたが、令和2年度は国の補正予算に対応した防災・減災対策の推進や、税収の減少に伴う減収補てん債の発行などにより、6年ぶりに増加しました。

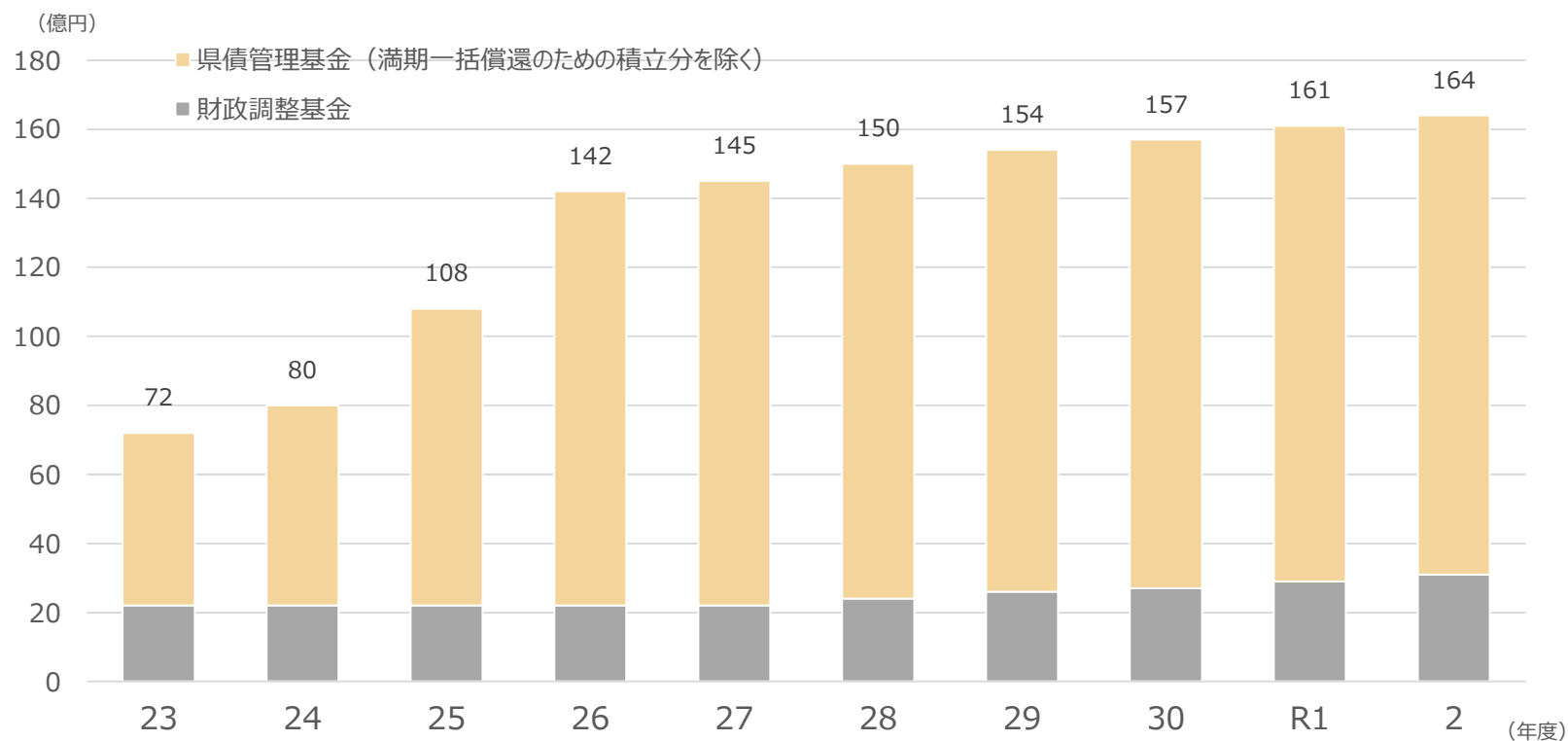
県債残高の推移（一般会計）



基金残高（財政調整基金・県債管理基金（満期一括償還のための積立分を除く））

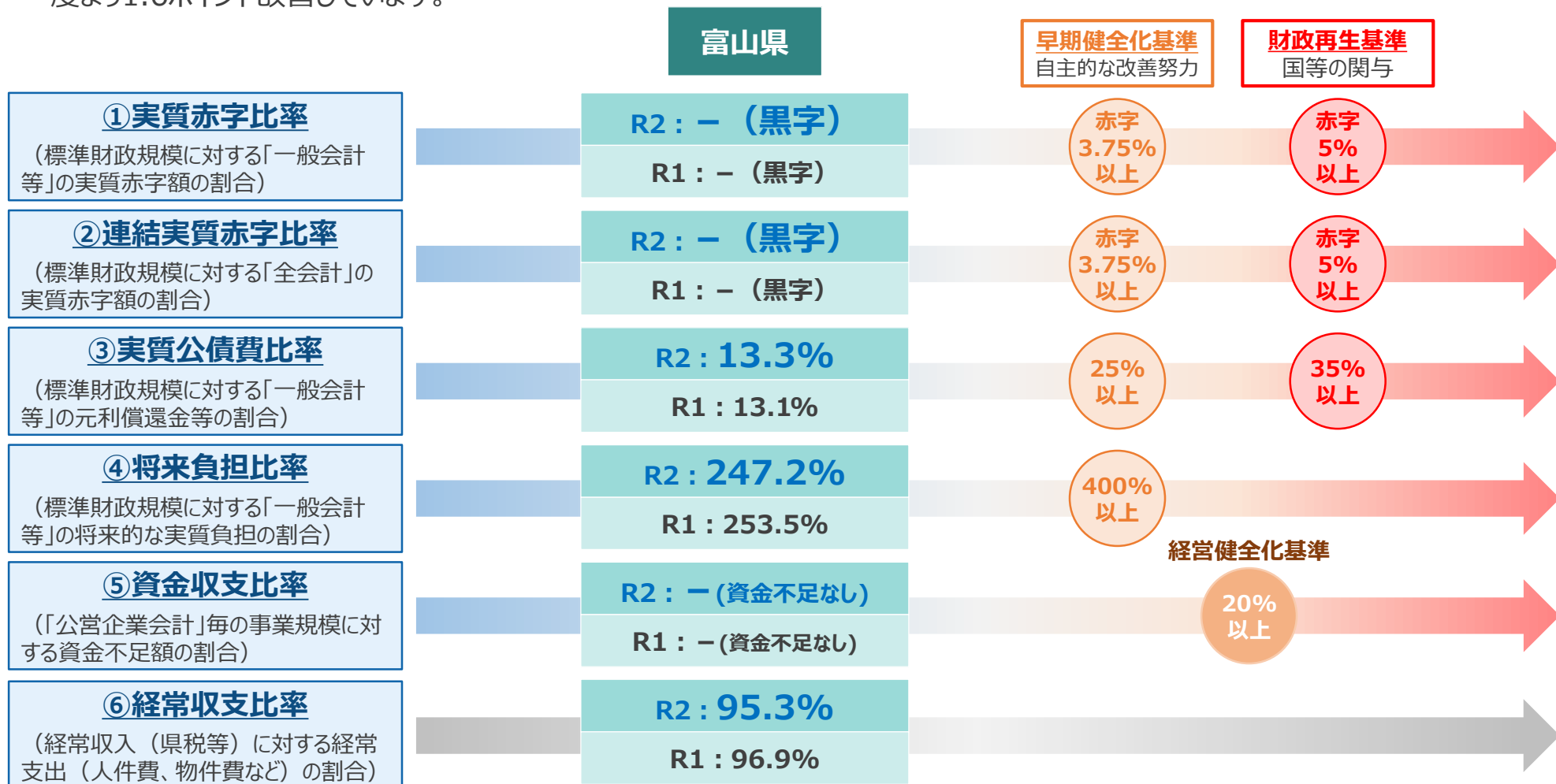
- 景気動向や大幅減収への対応、災害時等への備えとして近年徐々に増やしており、引き続き残高の確保に取り組んでいます。

財政調整等のための基金残高



主な財政指標の状況

- 財政健全化法における財政指標①～⑤については、早期健全化基準を大きく下回っています。また、経常収支比率も令和元年度より1.6ポイント改善しています。



- 「標準財政規模」：地方公共団体の標準的な状態で経常的に収入され得るであろう一般財源の規模
- 「一般会計等」：一般会計及び11の特別会計(公債管理特別会計など)
- 「公営企業会計」：病院事業会計をはじめとする8の特別会計

公営企業（法適用）の決算状況

- 全ての事業において純利益を計上しており、資金不足も発生していません。

(単位 百万円)

事業	R2				R元			
	総収益	総費用	純利益	資金剰余額	総収益	総費用	純利益	資金剰余額
病院事業	28,981	28,904	77	5,101	28,275	28,243	32	5,093
電気事業	5,098	3,721	1,377	6,947	4,982	3,609	1,373	6,287
水道事業	1,771	1,382	389	2,667	1,738	1,454	284	2,620
工業用水道事業	2,122	1,430	692	4,349	2,145	1,364	781	3,706
地域開発事業	60	35	25	7	63	36	27	3
流域下水道事業	6,952	6,778	174	1,148	R2年度から公営企業会計			

病院事業	電気事業	水道事業	工業用水道事業	地域開発事業	流域下水道事業
県立中央病院、県リハビリテーション病院・こども支援センターの経営	井田川・小矢部川・常願寺川水系等の発電所における、水力発電事業	東部・西部において、各市町村への水道用水供給事業	西部・八尾中核工業団地、利賀川における工業用水供給事業	富山市における駐車場事業	小矢部川及び神通川左岸流域における、複数の市町村区域にわたる広域的な下水道事業

4

市場公募債発行計画

- 令和3年度市場公募債発行概要

令和3年度市場公募債発行概要

発行概要

発行額： 100億円

発行時期： 令和3年11月

償還方法： 満期一括償還

償還年限： 10年

引受シンジケート団

銀行団

株式会社 北陸銀行（代表受託行・幹事）
株式会社 みずほ銀行（副受託行・幹事）
株式会社 富山第一銀行
株式会社 富山銀行
富山信用金庫

証券団

野村證券 株式会社（幹事）
大和証券 株式会社
SMBC日興証券 株式会社
みずほ証券 株式会社
三菱UFJモルガン・スタンレー証券 株式会社

MEMO

お問い合わせ先

富山県 経営管理部 財政課

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7

tel: 076-444-3168

Fax: 076-444-3485

富山県HP

[富山県公式ウェブサイト \(pref.toyama.jp\)](http://pref.toyama.jp)



本資料は、富山県債の購入をご検討いただいている投資家の方々に、本県の財政状況等について説明することを目的とするものであり、特定の債券の売出しまたは募集を意図するものではありません。

本資料に掲載されている情報は、修正する場合があります。



富山県

Toyama Prefecture

